

日本昆虫学会第76回大会・第60回日本応用動物昆虫学会大会合同大会で伊豆沼におけるオオセスジイトンボ成虫の生態について発表しました

平成28年3月26日から29日に大阪府立大学中百舌鳥キャンパスにおいて、日本昆虫学会第76回大会・第60回日本応用動物昆虫学会大会合同大会が開催され、財団から上田が参加しました。上田は伊豆沼周辺に生息するオオセスジイトンボ成虫の生態について発表しました。

オオセスジイトンボとは東日本の限られた地域にしか生息していない、希少なイトンボの仲間です。伊豆沼周辺における生息場所も限られており、多種多様な水生植物が生育する環境でのみ観察できます。

今回の発表では、オオセスジイトンボ成虫の分布と植生の構造との対応関係について紹介しました。オオセスジイトンボの成虫は水生植物を止まり場や産卵基質として利用しますが、私たちの研究で好みの植物がありそうなことが分かってきました。今後、これらの研究や発表を通して、オオセスジイトンボの保全に役立てていく予定です。



オオセスジイトンボ♂



オオセスジイトンボの交尾